

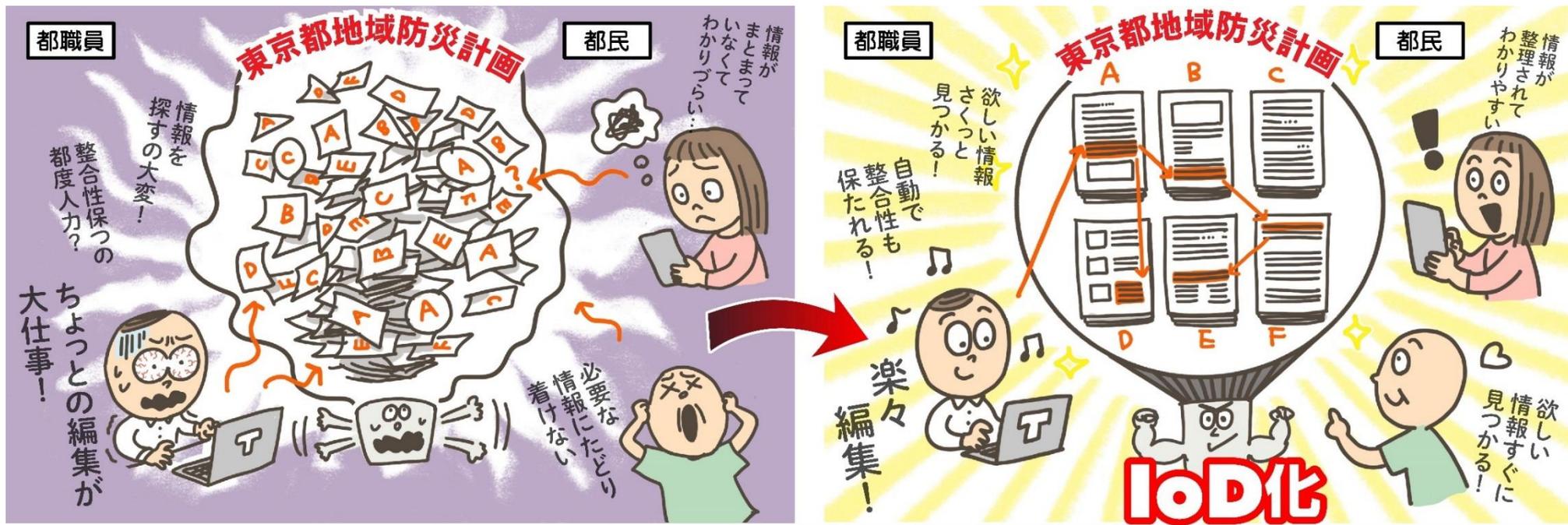
災害の脅威から都民を守る
都市づくり

東京都地域防災計画の IoD化による防災力向上

総事業費

0.6 億円程度
(3年間)

東京都地域防災計画内の関連する文書同士を結び付け、新たな情報基盤を構築する (IoD化)。情報のアクセシビリティ向上により都民の防災への理解が進むことで、東京都の防災力が向上するとともに、職員による地域防災計画の修正作業の負担が軽減される。



課題・背景

- 東京都防災会議において策定することとされている「東京都地域防災計画」は都民にとって有用な情報が多い一方、ページ数が多く、災害種別ごとに冊子化されているため、必要とする情報にたどり着くのに時間がかかる。

事業内容の詳細

○ Internet of Documents (IoD, 文書のインターネット) とは？

- 様々な製品やサービスがインターネット経由でつながるInternet of Things (モノのインターネット)と呼ばれる考え方を、文書に適用したもの。

○ IoDの活用方法

- 関連する文書同士を結び付けることで、様々な視点で情報を抽出できるようにするとともに、関連文書相互の整合性の自動チェックが可能になる。

期待される効果

- 情報のアクセシビリティ向上により**都民の防災への理解が進むことで、東京都の防災力が向上する。**
- 都職員による地域防災計画の修正作業の負担が**長期的に軽減**される。